

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公開番号】特開2008-123771(P2008-123771A)

【公開日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2008-021

【出願番号】特願2006-304801(P2006-304801)

【国際特許分類】

H 0 1 M 8/06 (2006.01)

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/06 W

H 0 1 M 8/04 L

H 0 1 M 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月2日(2009.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

発電によって生成される副生成物を回収する回収器を設け、
前記回収器の前記副生成物の収容許容量は、前記燃料容器に収容される前記燃料の量によ
って生成される前記副生成物の量以上であり、

前記回収器から余剰した副生成物を、燃料が発電に要する所定量未満になった前記燃料
 容器に回収することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の発電モジュール。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

発電によって生成される副生成物を回収する回収器を設け、
前記回収器の前記副生成物の収容許容量は、前記複数の燃料容器の何れか一つに収容さ
れる前記燃料の量によって生成される前記副生成物の量以上であり、

前記回収器から余剰した副生成物を、前記複数の燃料容器のうち燃料が発電に要する所
 定量未満になった燃料容器に回収することを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の発電モ
 ジュール。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 3 の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の発電モジュールにおいて、
 発電によって生成される副生成物を回収する回収器を設け、

前記回収器の前記副生成物の収容許容量は、前記燃料容器に収容される前記燃料の量によって生成される前記副生成物の量以上であり、

前記回収器から余剰した副生成物を、燃料が発電に要する所定量未満になった前記燃料容器に回収することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

請求項８の発明は、請求項６又は７に記載の発電モジュールにおいて、

発電によって生成される副生成物を回収する回収器を設け、

前記回収器の前記副生成物の収容許容量は、前記複数の燃料容器の何れか一つに収容される前記燃料の量によって生成される前記副生成物の量以上であり、

前記回収器から余剰した副生成物を、前記複数の燃料容器のうち燃料が発電に要する所定量未満になった燃料容器に回収することを特徴とする。